

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	鳴門板野古墳群整備活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系			根拠法令計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	3	心豊かで多彩な人材を育む鳴門づくり		事業期間	開始
政策(中項目)	2	自己実現都市なると	終期		
(小項目)		文化振興(②文化財)			
施策	05	文化財の保護と活用			
基本事業	1	文化財の保護と活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門板野古墳群を構成する弥生時代終末期から古墳時代前期の現存する古墳:大代古墳・宝幢寺古墳・天河別神社古墳群・萩原2号墓														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国指定史跡化</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位	国指定史跡化	○	○	○	○	○	
指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位										
国指定史跡化	○	○	○	○	○											

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国指定史跡化にむけての指定申請に必要な土地所有者の同意取得作業を継続して行った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	発掘調査・境界復元作業の実施	1	0	1	-	-	件
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	国指定史跡化		○	○	-	-	-	
	目標達成率(実績/目標)			-	-	-	-	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		14,144	210	3,272	1,420	11,420	千円
	財源内訳	国	0	0	0	500	8,500	
		県	13,770	105	105	460	1,460	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	374	105	3,167	460	1,460	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,607	652	3,259	1,303	2,607	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.4	0.1	0.5	0.2	0.4		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		16,751	862	6,531	2,723	14,027	千円	

【事務事業名：鳴門板野古墳群整備活用事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	指定申請に必要な土地所有者の同意取得作業を継続中
---------	--------------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	国・県との連携により早期の指定を目指すことが可能。また調査結果から重要な史跡として評価できることから、市民の文化的生活の向上に資する地域資源である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 文化財の保護と活用 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	国指定史跡として地域の歴史遺産を保護することによって、観光振興及び地域活動の拠点となる整備を進め、周辺の文化的・地域資源との総合活用を図ることができる。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	国指定史跡化と資源維持のための整備・保全是市が主体となり、指定後の環境整備や活用事業は積極的に地域との協働を進める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	/10	<input type="checkbox"/>		⑤ 効率性向上の余地はない。

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				